

下田市の家計簿は どうなっているの？

平成30年度の 主な施策

人口減対策

- コミュニティバスの新規導入
- 光ファイバ網整備補助(稲梓地区)
- 産後ケア、産婦健康診査委託
- プログラミング教育業務委託
- 住宅リフォーム振興助成金(子育て支援分)

観光振興を主体とする経済活性化

- wi-fi施設設置事業
- みなとまちゾーン活性化推進事業
- 旧下田地区整備事業
- 稲生沢蓮台寺温泉お散歩地区整備事業
- 静岡県大型観光キャンペーン関係

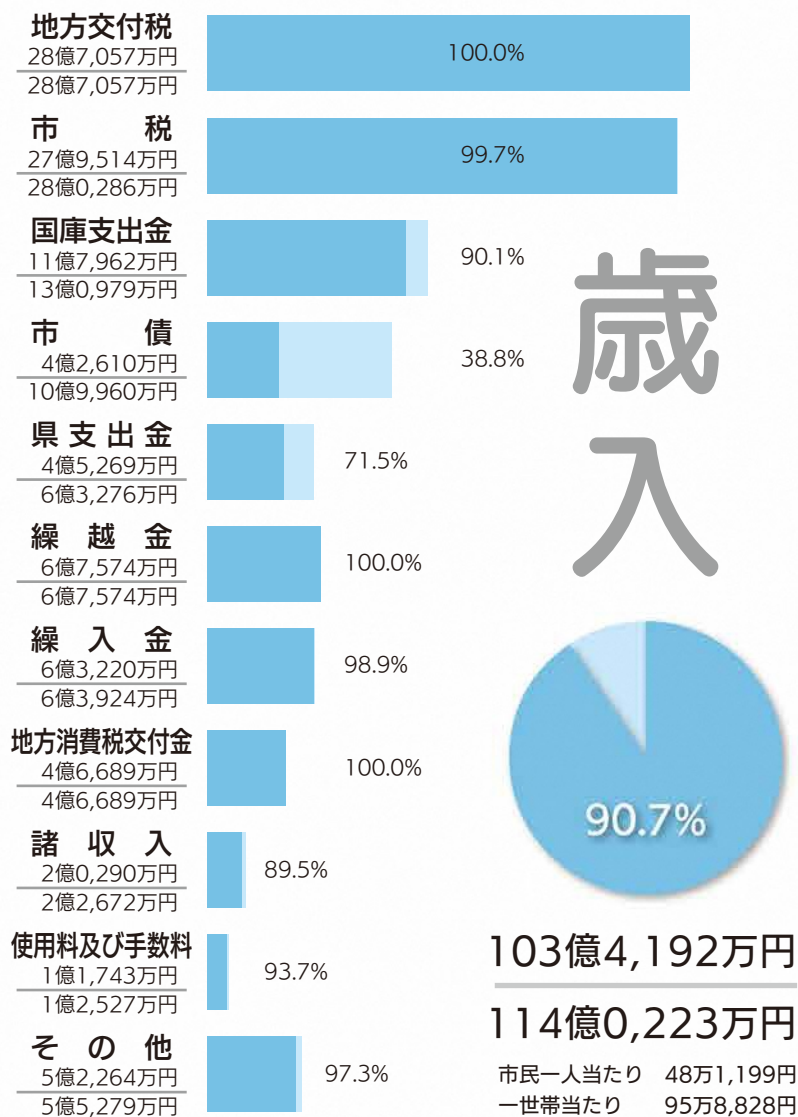
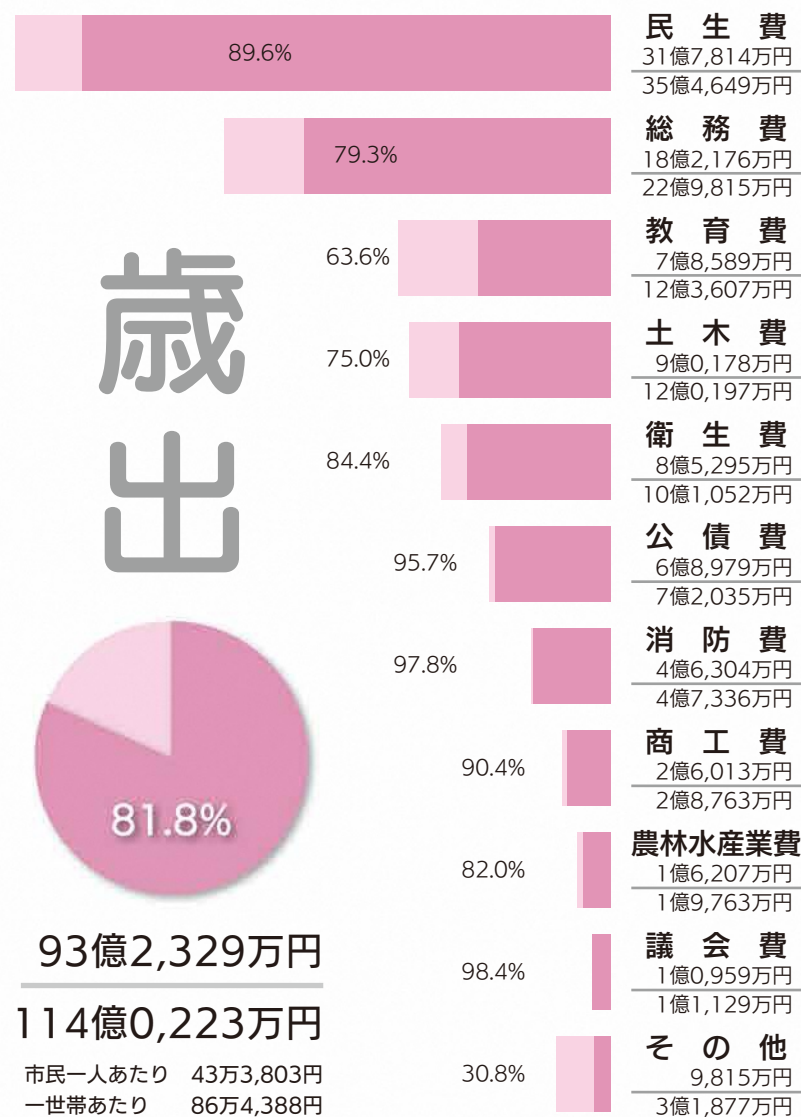
防災対策

- 新庁舎建設設計監理等
- 津波避難路整備(敷根避難路)
- 耐水性貯水槽、非常用トイレ整備工事
- 消防団ポンプ自動車、小型ポンプ積載車更新
- 宮渡戸橋架替工事

その他

- 市営住宅解体工事
- 中学校再編整備事業
- 住民票等コンビニ交付事業

※性質別(人件費、扶養費など)の執行状況については広報しもだ12月号の決算状況で公表いたします。



下田市の財政事情

平成30年度 下期執行状況

市民の皆さまに平成30年度下半期(平成31年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。

これは、皆さまからの税金や国、県から交付されるお金がどのように使われているかを示すもので、下田市の財政状況を示した家計簿といえるものです。

グラフの見方

区分名
収入・支出済額

予算額

濃い色は執行率(%)



問合せ先

総務課財政係 ☎@3911

●平成30年度特別会計及び事業会計の執行状況

会計名	予算額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
稲梓財産区特別会計	247万円	264万円(106.9%)	74万円(30.0%)
下田駅前広場整備事業特別会計	902万円	899万円(99.7%)	516万円(57.2%)
公共用地取得特別会計	319万円	319万円(99.9%)	319万円(99.9%)
国民健康保険事業特別会計	33億2,088万円	24億9,606万円(75.2%)	29億7,821万円(89.7%)
介護保険特別会計	28億0,073万円	26億3,574万円(94.1%)	23億4,435万円(83.7%)
後期高齢者医療特別会計	3億5,671万円	3億4,011万円(95.3%)	3億0,902万円(86.6%)
集落排水事業特別会計	6,251万円	1,779万円(28.5%)	3,869万円(61.9%)
下水道事業特別会計	11億0,955万円	10億7,687万円(97.1%)	10億4,672万円(94.3%)
水道事業会計	12億6,847万円	12億3,624万円(97.5%)	11億4,786万円(90.5%)
合計	89億3,353万円	78億1,763万円(87.5%)	78億7,394万円(88.1%)

特別会計とは、地方公共団体が特定の事業を行う場合、その特定の収入をもって特定の支出にあて、一般の収入・支出と区分して経理する必要がある場合において、一般会計から分離して、別に収支経理

を行う会計のことをいいます。

現在、下田市には後期高齢者医療特別会計など7つの特別会計と、事業会計として水道事業会計と下水道事業会計があります。

●一般会計目的別の市債

目的別	残高	構成比
教育債	10億0,375万円	12.2%
民生債	5億8,079万円	7.1%
消防債	4億2,090万円	5.1%
土木債	4億1,073万円	5.0%
過疎対策事業債	3億6,340万円	4.4%
その他	54億4,613万円	66.2%
合計	82億2,570万円	100.0%

●各会計の市債

会計名	残高	構成比
一般会計	82億2,570万円	49.4%
水道事業会計	28億7,121万円	17.2%
下水道事業会計	55億0,783万円	33.1%
集落排水事業会計	5,014万円	0.3%
合計	166億5,488万円	100.0%
市民一人当たり		774,934円
一世帯当たり		1,544,120円

●一人あたりの市税負担額

都市計画税	固定資産税	市民税
 7,607円	 61,945円	 45,615円
軽自動車税	市たばこ税	入湯税
 3,316円	 7,777円	 3,713円

●市有財産の状況

種類	保有状況
土地	3,907,030.22平方メートル(一般会計分)
建物	88,456.38平方メートル(一般会計分)
基金	36億8,136万円(土地開発基金貸付金1億9,400万円含む)
出資による権利	10億0,343万円
有価証券	120万円